



アプリのこと



ミントグループでは、ファッションショーを行ないました！みなさんおしゃれをして、楽しそうでしたね♪

独り言

～地域の皆様へ御礼～



東日本大震災から 10 年。つどいの家・アプリはその震災の年に開所いたしました。当時は利用者 28 名でスタートしましたが、今は 38 名の利用者が登録し、日々 30 名程度利用しています。毎日日中活動を展開する中で、地域の方々に見守られ、時には励まされ、たくさんのみなさんとの出会いがありました。当時、小学生だった地域の皆さんも、高校生や大学生になり、今でも元気に挨拶をしてくれます。町内会の夏祭りや市民センター祭り、町内の防災訓練、様々な場面で、アプリ利用者との場を交流する機会は今も宝です。コロナ禍の中で、交流する機会はめっきり減りましたが、10年目のアプリを今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

最後に、私事ですが、人事異動でつどいの家・アプリからつどいの家・コペル（若林区上飯田）に異動することになりました。地域の皆様との出会いを大切に、異動先でも精進してまいりますので、今後とも社会福祉法人つどいの家を応援してください。山田地域の皆様、9年間ありがとうございました。

追伸：令和3年度「～アプリのお宝市～バザ～っす！！」は、感染対策のために中止とさせていただきます。大変ご迷惑をおかけいたしますが、どうぞ、よろしくお願いいたします。

（ 記：管理者 大累 ）

つどいの家実践発表会

12月18日（金）に法人の全体研修として、「つどいの家実践発表会」が行なわれました。各事業所が決めたテーマに沿って発表を行ない、その発表内容は事業所毎に様々でした。アプリでは「食について」とテーマを定め、約2カ月間かけて準備をしました。

食事をとることの意味や食育について触れつつ、合間にアプリのグループ編成や活動内容を紹介しながら発表をしました。昼食時の風景をビデオで撮影し、アプリの昼食の様子を皆さんに見て頂き、合わせてアプリの利用者の紹介も行いました。また、アプリで食事提供をする上で取り組んでいる事例を紹介しました。

今回の研修を通し、食事とは「生きる力」だということを再認識することができました。今後も食を通して健康な身体で、日々の活動を皆さんと一緒に楽しめる場所を目指していきたいと思います。

（ 記：渡部 ）



LIVING ～地域での暮らし～

私の所属するミントグループは、自分の声で言葉を発し、想いを伝えるということは難しい利用者がほとんどです。それでも、表情や視線、身振りなど様々な方法で、日々自分の想いを伝えています。言葉でのやり取りだけがコミュニケーションではありません。ジェスチャーやタッチ、表情など、様々な方法があります。

そんな中、新しいコミュニケーション方法に挑戦している利用者がいます。高橋桃子さんは、今年度、パソコンを用いた「視線入力」というものに取り組んでいます。カメラが視線の動きを読み取り、マウスの代わりに視線でパソコンを操作できるというものです。元々パソコンが好きなこともあり、自分で操作できることが嬉しく目を輝かせている桃子さん。いつか自分の力で想いを伝えることができるように、毎回集中して練習しています。

伝え方は違おうとしても、それぞれの想いがあり、誰かに伝えたい気持ちはどんな人でも同じです。今回の挑戦をきっかけに、地域の方々や周りの人に向けて、今まで以上に自分から発信していけたらと思っています。

(記：淡路)



視線入力装置



嘔吐物処理について

感染対策の一環として、12月と1月の2回に分けて全職員を対象として、嘔吐物処理方法についての研修会を行いました。

これからの季節に多いのが、ノロウイルス。ウイルス性胃腸炎を引き起こすウイルスの一属です。感染者の吐物、あるいはそれらが乾燥したものから出るちりやほこりを介して経口感染するほか、吐物を触れることによっても感染する恐れがあります。適切な対応を怠ると感染が拡大していくこともあるため十分な対策が必要です。

アプリでは、嘔吐処理セットを用意し、処理する際にはガウン、マスク、グローブ、靴カバーなどの準備をしてから処理を行います。研修会では、ガウンの着脱方法や吐物の集め方などを実際に体験し、一人一人が緊急時に速やかな対応で感染の拡大が防げるように学びました。実際にヨーグルトを使って吐物に見立て集めてみましたが、グローブをしている事でうまく集めることが難しく苦戦していました。実際に体験してみることで、緊急時には迅速な対応ができると思います。

※ノロウイルスは、塩素系漂白剤で消毒し、85℃以上で1分間以上の熱水洗濯が有効です。

(記：菊地)

♡ いちご狩り ♡



2月19日、カモミールグループの活動で名取の高館にある「ラ・フリーズ」という農園で30分食べ放題のいちご狩りに行ってきました。新型コロナウイルス感染対策として受付の際にアルコール消毒をし、体温を計り、安心していちご狩りに参加することができました。ハウスの中はとても広く、車椅子の利用者も余裕をもって通れる環境でした。

一面に広がるいちご畑を見て、利用者はキラキラと目を輝かせていました。いちごの大きさは写真で見て分かる通り、ひと口では食べきれない大きさで、次々と取っては口に入れていき、あっという間の30分でした。お腹いっぱいになって満足そうな利用者の笑顔を見ることができ、我々職員もとても嬉しい気持ちになりました。

新型コロナウイルスが流行していますが、今後も感染対策を行ないながら外出活動をしていけたらと思います。

(記：小名木)



オンライン交流会

先日、アプリのミントグループ、コペルのオリザグループ、仙台つどいの家のさんしょグループの法人内3事業所でオンライン交流会を行いました。昨年度までは、直接会っての交流会を行なっていましたが、今年度は新型コロナウイルスの影響もありオンラインでの交流会となりました。今回はオンライン第1回目ということもあり、今年度から入った利用者の自己紹介や各事業所のグループ紹介を行ないました。

参加した利用者もスクリーンに映っている様子を見て、手を振ったり、話に耳を傾けたりと楽しんでいました！緊張している利用者もいましたが、直接顔を合わせた交流会とは違い、画面を通しての関わりは新鮮でした。今後も定期的に関催をして他事業所との交流を深めていきたいと思います。

(記：石田)



今年度を振り返って ～利用者インタビュー～

今年度もまもなく終わろうとしています。そこで、利用者に今年度の思い出をインタビューしてみました！みなさん、どんな1年だったのでしょうか？

《ミントグループ：安海貴裕さん》

Q. 今年度の活動で、特に楽しかったことは何ですか？

A. フライドチキンを自分で買いに行って食べたことです！
(その時の写真を見て笑顔に)

Q. アプリの厨房で食べやすくしたチキンは、美味しかったですか？

A. とっても美味しかった～！(思い出してさらに笑顔になる)

Q. 来年度も楽しいことをたくさんしましょうね！

A. 楽しむぞ、おー！(口を開けて、左手を挙げる貴裕さん)

(記：淡路)



《カモミールグループ：男性利用者》

Q. 今年度のカモミールはどうでしたか？

A. 作業とかやっていたはずなんです。そんな感じかな。

Q. 楽しかったことは何ですか？

A. 名取の神社に行ったことがありました。

えーっと(思い出すように)熊野堂神社！自宅でも行きたいですね。

Q. 他に行ってみたい所はありますか？

A. 街の方。勾当台公園、週末混むので。混んでないところ。

密集避けて気を付けないとだめですね。(記：佐藤(智))



《バジルグループ：槻田朗さん》

Q. 今年楽しかったことは何ですか？

A. 朗らかクラブ(朗さんのお家に利用者・職員で遊びに行く活動)ですね。

Q. 朗らかクラブでどんなことをしましたか？

A. 歌を歌いました♪(朗さんのおうちにはカラオケの機械があり、なんと朗さん専用のマイクもあるのです！歌う時は感染対策のためしっかりマスクを着用していました。)

Q. 来年度も楽しい活動をたくさん企画していきましょうね！

A. うん！(満面の笑みで教えてくださいました)(記：佐藤(愛))



《クレソン・ジャスミングループ：小林敦子さん》

Q. 今年度、敦子さんが楽しかったことはなんですか？

A. (自分の手の爪をジーっと見つめる・・・)

Q. おしゃれ活動？

A. はい！！

Q. 来年度は何を頑張りたいですか？

A. ガッカリして～メーソメソして～・・・♪

来年度はおしゃれをして、いろんな歌を歌いましょうね♪(記：押切)



アプリの感染症対策について

つどいの家・アプリでは、新型コロナウイルス感染対策のために、さまざまな物品を用意し、感染予防に努めています！（公用車も運転席にアクリル板を設置しました！）



玄関にはカメラ型の検温装置！！

アルコール消毒はセンサー型なので触れずにできます☆



職員が密になる事務室にアクリル板を設置！



公用車の運転席にアクリル板を設置しました！



窓を開けるため、寒さ対策のストーブ

換気のためのサーキュレーター



（記：加藤（裕））

☆ボランティア募集のお知らせ☆

つどいの家・アプリでは、利用者と日中活動を一緒にして下さるボランティアさんを大募集しています！アプリには運動が好きな人、歌を歌うことが好きな人、外出することが好きな人、お話をすることが好きな人等さまざまな利用者がいます。そんな個性豊かな利用者と一緒に楽しいひとときを過ごしませんか？みなさんとの出会いをとっても楽しみにしています。時間帯は、10時から15時30分ですが、午前中だけ、午後だけでも構いません。興味のある方は1度、アプリへ見学にいらしてください。お待ちしております！

連絡先 つどいの家・アプリ
TEL：022（743）1882

担当：山添



《編集後記》

今年度は、新しい生活様式の中で、今までとは大きく異なる1年になりました。アプリはバザーも中止となり、地域の皆様とは以前より顔を合わせる機会は少なくなりましたが、会報を通してアプリでの元気な様子をお届けできたと思っています。来年度も会報「アプリのこと」をよろしくお祈いします！（記：淡路）